

# ブローバッククリーナー 取扱説明書

本書はいつでも利用出来るように大切に  
保存し、必要なときにお読み下さい。

株式会社 ブローバック

# 1 はじめに

ブローバッククリーナーは圧縮空気を利用したクリーナーです。取り扱いが容易な上抜群の性能を備えています。ご使用前に必ず本書を最後までお読み頂き、特に下記のシンボルマークおよびシグナルワードとその意味を充分にご認識とご理解の上正しくご活用下さい。

## シンボルマーク・シグナルワードとその意味

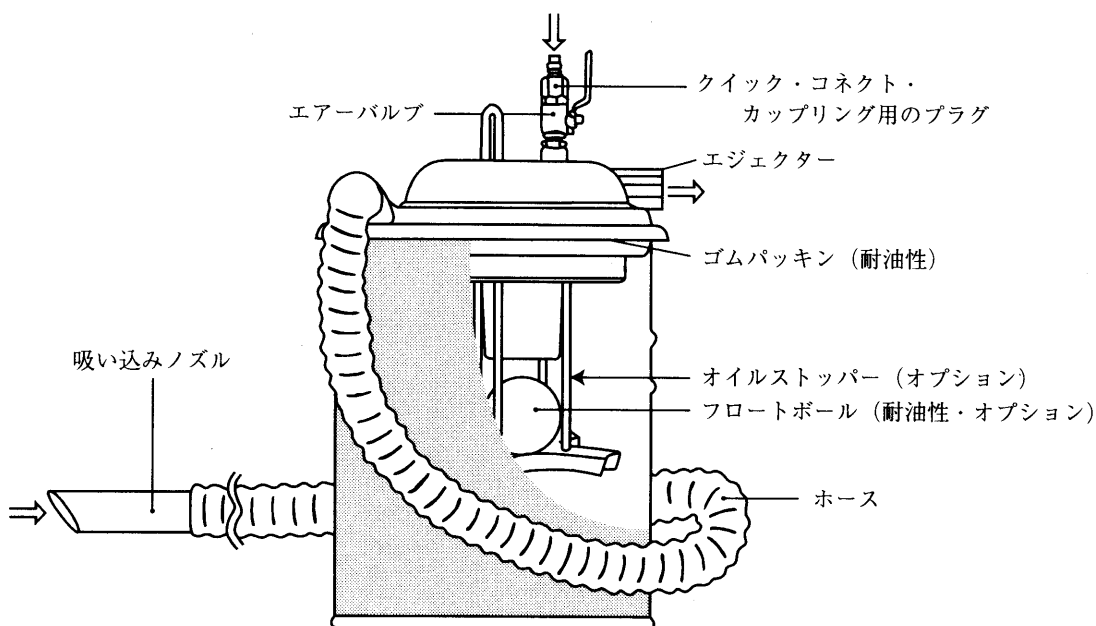
△ 警告	必ず実行して頂く『強制警告』です
△ 注意	気を付けて頂きたい『注意喚起』です

# 2 仕様

型式	ホース	吸込ノズル
V 300	φ 25 × 2 m (耐油性)	φ 25 × 30 cm (アルミ)
V 300 H	〃	〃
V 500	φ 32 × 2 m ( 〃 )	φ 32 × 30 cm ( 〃 )
V 500 H	〃	〃
V 530 W	φ 38 × 2 m ( 〃 )	φ 38 × 30 cm ( 〃 )
V 550 W	φ 50 × 2.5 m ( 〃 )	φ 50 × 50 cm ( 〃 )

(※ エアーバルブは3/8"を使用しています)

# 3 各部の名称



## 4 ご使用の前に

- ① ペール缶について 缶は痛みの少ないもので縁に凹凸や変形のない肉厚のものをご用意下さい。特にニードルS及びHタイプをご使用の場合、高真空のため缶が潰れるおそれがありますので必ず専用缶若しくは補強用P枠をご用意下さい。
- ② 圧縮空気について コンプレッサーはV300・V300Hは3馬力以上、V500・V500Hは5馬力以上、V530W・V550Wは10馬力以上をご使用下さい。なお他機との併用の場合、圧力低下にご注意下さい。使用空気圧は4～6 kg/cm<sup>2</sup>が適当です。圧力が高いと真空度が上がり缶が潰れるおそれがあります。
- ③ エアーホースについて 3/8" (エアーバルブが1/2"の場合は1/2")以上の太いホースをご用意下さい。ホースが細いと圧力が落ちて機能が低下します。
- ④ クイック・コネクト・カップリングについて 日東工器製ハイカプラ30SH (但しエアーバルブ1/2"の場合は400SH) をご用意下さい。
- ⑤ V530W・V550Wについて 本機種に限りエアーバルブ1/2"の使用により真空度・消費量約30%、吸込量約15%アップします。この場合本体の加工が必要となりますのでご相談下さい。

## 5 使用方法

- ① ペール缶に本機を乗せ、本機のゴムパッキンの溝にペール缶の縁がピッタリ入るようにセットして下さい。ピッタリ入らない場合は良い缶と交換して下さい。缶の縁に凹凸や変形があると密閉しないので機能が低下します。
- ② エアーバルブを閉じて、クイック・コネクト・カップリングで圧縮空気を接続し、エアーバルブを開いて下さい。エジェクターより空気が吹き出して吸い込みます。吸い込みノズルは、主ノズルと角ノズルの2種類ありますので吸い込む場所によって使い分けて下さい。ノズルの取り替え要領は、ホースを左手にノズルを右手に持ち、ホースに向かって時計回りにノズルを回して下さい。

## 6 使用上の注意

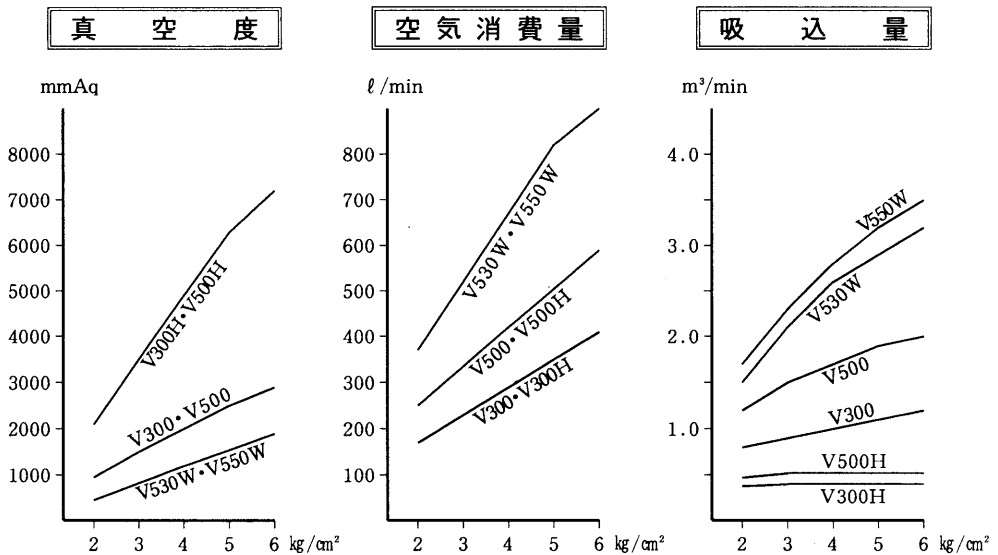
- △ 警告** ① 圧縮空気によるクリーナーですから爆発性物質の吸引も可能ですが、この場合必ずアースをとって下さい。
- △ 警告** ② 溶剤・薬品の吸い込みには適しません。万一溶剤などを扱う場合は室内の換気には充分ご注意下さい。なおこの場合ホース等適応品と交換する必要がありますから予めご相談下さい。
- △ 注意** ③ 吸い込み対象物の温度は60℃以下でご使用下さい。60℃以上でのご使用を希望される場合は予めご相談下さい。
- △ 注意** ④ エジェクターからの空気の吹き出しは強力です。エジェクターの方向にご注意下さい。また吸い込み中、缶が満杯になったり、途中で吸い込みを止めた時は、速やかにエアーバルブを閉じて下さい。空の吸引はエジェクターからの吸い込み物吹き出しの原因となります。

- ⑤ 液体を吸う場合はオイルストッパーを、粉体を吸う場合はフィルターセットをご使用下さい。
- ⑥ クイック・コネクト・カップリング用プラグの中にストレーナーが入っています。ストレーナーにゴミなどが詰まると機能が低下しますから、時々石鹼水で洗ってください。ストレーナーはプラグから抜き取らないで、そのまま洗って下さい。

## 7 オプション（別売り）

- ① オイルストッパー 液体を吸い込む時に使用します。缶が満杯になるとフロートボールが作動して吸い込みを止めます。
- ② フィルターセット 粉体を吸い込むときに使用します。
- ③ エジェクターニードル(S) 真空度を上げたい時に使用します。これの使用により真空度は標準時の約40%アップしますが液体吸引専用となります。
- ④ 専用缶・補強用P枠 使用空気圧が高い場合や高真空で吸引する場合に使用します。
- ⑤ サイレンサー 騒音を下げたい時に使用します。(空気圧 6 kg/cm<sup>2</sup>の時、騒音は約15%低下しますが真空度約5%・吸い込み量約3%共に低下します)

## 8 参 考



## 9 お 願 い

修理・お取り扱い・お手入れ等のご相談はご購入店又は下記へお申し付け下さい。

**株式会社 ブローバック上田工場**  
 長野県上田市藤原田字大清水1053 TEL (0268) 67-2523